

プレスリリース

「李鎮雨-森の奥で」展

2017年3月4日(土) - 4月15日(土)

東京画廊+BTAP | 東京

〒104-0061 東京都中央区銀座 8-10-5 第4 秀和ビル 7階

TEL: 03-3571-1808 / FAX: 03-3571-7689

オープニング・レセプション | 2017年3月4日(土) 16:00-18:00

この度東京画廊+BTAPは3月4日(土)より、李鎮雨の個展『森の奥で』を開催いたします。本展はアーティストにとって日本で初めての個展となります。

李鎮雨 (Lee JinWoo) は1959年、韓国、ソウル生まれ。1983年に韓国の世宗大学を卒業後、1986年に渡仏し、パリ国立高等美術大学を卒業。現在はパリを拠点に活動しています。

パリ留学中、李はイタリアのストロンボリー島で火山の噴火を偶然目撃し、衝撃を受けます。火山灰を持ち帰った李は、それを自身の作品モチーフとしました。

李は炭を撒いた上に韓紙を乗せ、鉄のブラシで叩くという作業を何層にもわたって繰り返すことで、特有の質感をもったモノクロームの画面を作り出します。作家はこの作業について、自身に内在する「何か」を、「頭」または「脳」の介在なしに表出するための手段だと語っています。概念や思考の干渉を防ぐために必要なのが、強い労働の繰り返しなのです。

李の作品は、国際的再評価の機運がある韓国の単色画 (Dansaekhwa) の「行為の反復」「修行」「精神性」という要素にも一致します。本展には約30年前から制作を続けてきた韓紙、炭を使用した作品「無題」シリーズの新作の約8点を発表いたします。

昨年、パリ市立セルヌスキ美術館に李の作品が収蔵され、またフランスの大手出版社アクト・シュッド社より李の画集が刊行されました。東洋人のアーティストとしては、李禹煥に次ぐ二人目の快挙であり、ますますの注目が期待されます。

初日の3月4日(土) 16時より、来日中のアーティストを囲んでのオープニング・レセプションを開催いたします。是非とも広告のご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

東京画廊+BTAP プレス担当: 鈴木佳世

e-mail: kayo.suzuki@tokyo-gallery.com / website: www.tokyo-gallery.com

開廊時間 | (火-金)11:00-19:00 (土)11:00-17:00

休廊日 | 日、月、祝

北京展覧会 | LI DI / Criss-Cross

2016年12月20日(火)-2017年2月28日(火)

Ceramics Third Street, 798 Art zone E02, 4Jiu Xian Qiao Rd., Chao Yang District, Beijing, 100015 CHINA

東京画廊+BTAP | 東京

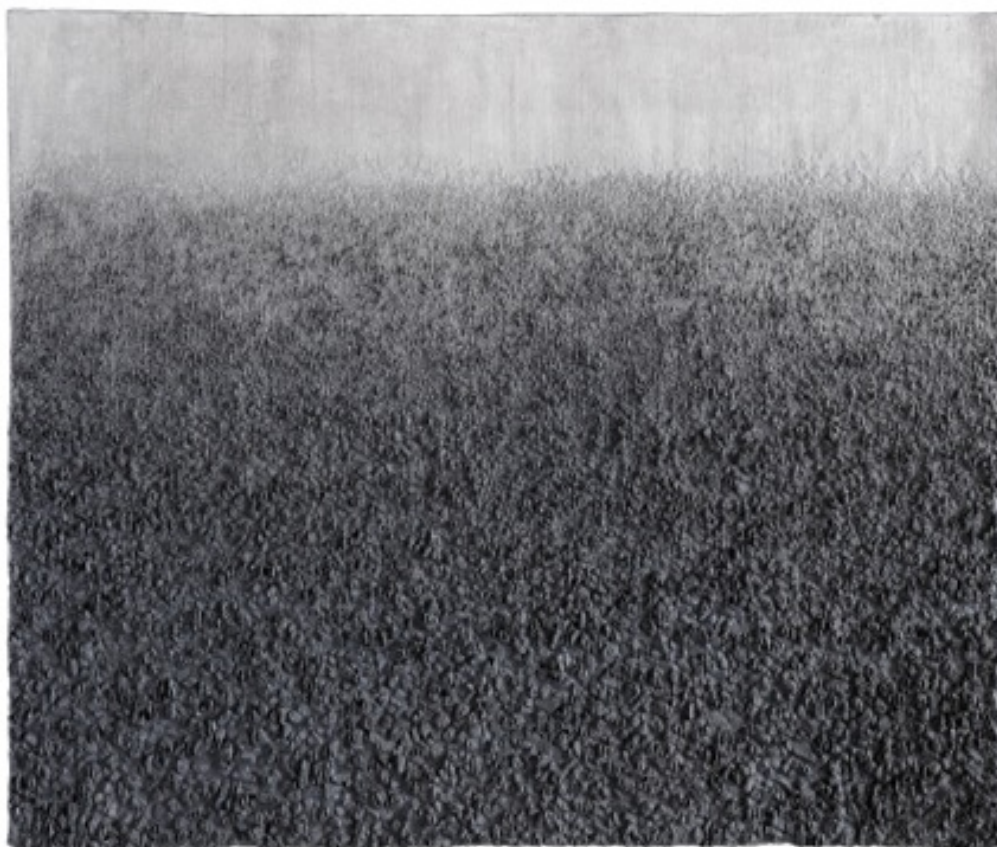
〒104-0061 東京都中央区銀座 8-10-5 第4 秀和ビル 7階

TEL: 03-3571-1808 / FAX: 03-3571-7689

www.tokyo-gallery.com



参考画像: Untitled, 2016, Mixed media with Korea paper on canvas, 66 x 100 cm



参考画像: Untitled, 2016, Mixed media with Korea paper on canvas, 132 x 161 cm